

福島の子どもにポケット線量計を！

～データ公開で、親が子どもを避難させるかを判断できるように～

震災による原発事故で、放射性物質が拡散して2ヶ月がたちました。

どの地域にどのくらいの放射性物質が降ったのか、どのくらいの放射線量を浴びているのか、それが将来の健康にどのように影響するのかも、まだ分かっていません。そんな不安の中で生活続けることは、体だけでなく、心の健康にも良くないのではと心配しています。

子どもの心身の健康を守り、将来の被曝による発病を防ぐのは、親の責任ですが、現在福島の学校に通う子どもを持つ親は、避難が必要かどうかを判断するための具体的な材料が不足しているのではないのでしょうか。

福島の子どもにポケット線量計を持ってもらえば、自分の子どもか、少なくとも同じ学校に通う子どもが、学校生活だけでなく、普段の1日の生活でどのくらいの放射線を浴び続けているかを知ることができるようになります。

毎日そのデータを公開することで、同じ地域の子どもたちもどの程度の被曝をしているか、毎日積み上がっていく被曝量を知ることができます。

それで、生活続けることが子どもにとって危険かどうか、避難や疎開が必要かを親が判断できるようにしたいのです。

もちろん線量計で計れるのは、外部被曝だけです。呼吸や水、食べ物を通して体に取り込まれる内部被曝のほうが影響は大きいので、線量計の数値ですべての被曝量が測れるわけではありませんが、実際にはその何倍かの被曝をしているとも考えられます。

- お願い・1■ デジタル表示のポケット線量計は、現在入手困難ですが、すでにお持ちの方には、データ公開に協力をお願いします。
- お願い・2■ 医療機関や個人の方で、貸し出し（または寄贈）できる方は、オフィスユルカでお預かりして、福島の希望者に貸し出しします。
- お願い・3■ 福島の学校に通うお子さまをお持ちの親御さんには、入手したポケット線量計の貸し出しをしますので、データ公開のご協力をお願いします。

福島の子どもにポケット線量計を！

～データ公開で、親が子どもを避難させるかを判断できるように～

～具体的な方法について～

- 子どもに持たせたいデジタル表示のポケット線量計とは（機種について）
日立アロカメディカル PDM-122, PDM-127, ADM-112
PDM-112, PDM-117 など、
富士電機 DOSE i-γ など
 - * デジタル表示、積算線量の表示ができる、子どもが常に身に着けられる大きさ、であれば、メーカーや新旧は問いません。
 - * 予備の電池はできるだけこちらでも用意します。
 - * 本来は校正（測定の精度調整）しますが、しないでも誤差は目的に反しません。

- 線量計をお持ちの方でデータ提供して頂ける方に
データ公開の方法（携帯写真を予定）や手順について相談いたします。
kodomo@office-zirka.com まで、メールにてご連絡をお願いします。

- 医療機関や個人の方でポケット線量計を貸し出し（または寄贈）頂ける方に
貸し出し条件や送り先について相談いたしますので、kodomo@office-zirka.com まで、メールにてご連絡をお願いします。

- 福島の学校に通うお子さまをお持ちの親御さんで、ポケット線量計の貸し出しを受け、データ提供にご協力頂ける方に
貸し出しご希望の方は、kodomo@office-zirka.com まで、メールにてご連絡ください。
ポケット線量計を入手次第、順次ご連絡いたします。
データ公開は、線量計のデジタル表示部分を携帯などで撮影して、画像を送って頂くように予定しています。
また、近隣の親御さんにも参考になるよう、学校名、学年、男女別の公開にも同意ください。

その他、ご意見やご提案も、kodomo@office-zirka.com までお願いします。
すべてにお返事できないかもしれませんが、ご了承ください。

2011. 5. 16
オフィスジルカ